

AED … AED（自動体外式除細動器）の使用方法

はじめに

突然心臓が止まる原因として多いのが、心臓がぶるぶると震える「心室細動」によるものです。この場合はできるだけ早く心臓に電気ショックを与えて心臓を正常な動きに戻す必要があります。

AEDはこの電気ショックを行うための機器です。コンピュータが自動的に心臓の動きを調べて電気ショックの必要・不要を判断してくれるため、誰にでも簡単に確実な操作をすることが出来ます。付近で誰かが倒れた時、AEDが近くにあれば救命のために役立てて下さい。

AEDの使用手順

- AEDは全年齢使用できます。
- 心肺蘇生法を行っている途中でAEDが届いたらすぐにAEDを使う準備を始めて下さい。
- AEDにはいくつかの種類がありますが、音声メッセージとランプによって実施すべきことを指示してくれますので落ち着いてそれに従って下さい。

AEDの機種例



1. AEDの到着と準備

① AEDを傷病者の横に置き、電源を入れる

※ 機種によってはふたを開けると電源が入るものもあります。

② 電極パッドを貼る

■ 付属されている電極パッドの粘着面が胸(素肌)にしっかり密着するように貼り付ける。

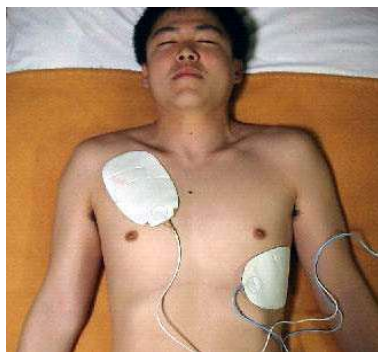
※機種によっては電極パッドのケーブルコネクタをAED本体の差込口に差し込むものがあります。

■ 電極パッドを貼り付ける際にもできるだけ胸骨圧迫を継続して下さい。

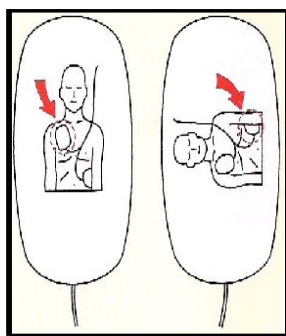
■ 未就学児に使用する場合、未就学児用パッドがあればそれを用います。

もし、未就学児用パッドが備わっていない場合は、小学生～大人用パッドを代用します。

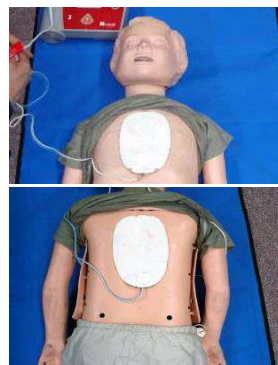
■ 未就学児用パッドの中には、胸と背中に貼るタイプのももあります。



電極パッドの装着例



イラストで貼る位置が示されています。



未就学児用のもので胸と背中に貼るタイプ



未就学児用パッドの一例

○ ポイント

- ・汗や水気で胸が濡れている場合はよく拭き取って下さい。
- ・貼り薬が貼ってある場合は剥がして薬剤をタオルなどでよく拭き取って下さい。
- ・ネックレス等の金属類が胸にかかっている場合は取り外すか胸にかからないようにして下さい。
- ・ペースメーカー等が埋め込まれている場合はペースメーカー等から3cm程離してパッドを貼って下さい。
- ・体毛によりパッドが密着せずエラーメッセージが出る場合は強く押し付けて密着させて下さい。
予備の電極パッドがあれば電極パッドをすばやく剥がして体毛を除去し予備の電極パッドに貼りにかえる方法もあります。
- ・小学生～大人の傷病者に未就学児用の電極パッドを使用してはいけません。

2. 心電図の解析

- 電極パッドを貼り付けると自動的に心電図の解析が行われます。
※解析とは心臓の動きを調べて電気ショックの必要・不必要を判断することです。
※機種によっては心電図の解析のため音声メッセージに従って解析ボタンを押すものもあります。

○ ポイント

- ・解析中は傷病者の体に触れてはいけません。「みなさん離れて！」と注意喚起をすることも大切です。
- ・解析後「ショックは不要です。ただちに胸骨圧迫を開始してください。」といった音声メッセージが流れる場合があります。この場合の心臓のリズムはAEDでは治せないものです。
音声メッセージに従って心肺蘇生法を行って下さい。

3. 電気ショック

- 解析の結果、電気ショックが必要な場合自動的に充電が始まります。
充電後は音声メッセージに従って電気ショックを行って下さい。

○ ポイント

- ・電気ショックを行う際は傷病者の体に触れてはいけません。
「ショックします。みなさん離れて！」と注意喚起をすることも大切です
- ・ショックボタンを押さなくても自動的に電気ショックが行われる機種(オートショックAED)もあります。



4. 心肺蘇生法とAEDの繰り返し

- 電気ショック後は音声メッセージに従って心肺蘇生法を行って下さい。以後の手順についてはAEDの音声メッセージに従い行動して下さい。

○ ポイント

- ・傷病者が動き出す、うめき声を出す、あるいは普段どおりに息をし始めるなど何らかの目的のある仕草が見られても、AEDの電極パッドは剥がさず電源も入れたままにしておきます。

☆救急隊へ引継ぐ時は・・・

倒れた時の状況やAEDによる電気ショックを行った回数、現在の状態などを伝えて下さい。